

夕張市議会だより

2011年2月1日
第12号
議会運営委員会

第4回定例会の 主な議会議決事項

会期12月14～22日

議案 10件
報告 4件
諮問 1件
意見書 2件

議案

◎夕張市財政再生計画の変更に

・財政構造の健全化と財政基盤の確立を図り、もって地域の将来に向けて透明性の高い持続可能な財政構造の構築を目的とするため、財政再生計画の変更を行うものである。

(なお今回の変更は平成22年度の第3次変更として、エゾ

シカ捕獲業務委託、共同浴場やごみ処分場等の施設維持補修経費などの増、及び平成23年度の行政執行体制を確保するため、平成24年度以降の職員採用計画から4名前倒ししたことによる人件費の増)

◎平成22年度夕張市国民健康保険事業会計補正予算

◎平成22年度夕張市公共下水道事業会計補正予算

◎平成22年度夕張市介護保険事業会計補正予算

◎夕張市職員旅費条例の一部改正について

◎夕張市営住宅条例の一部改正について

◎夕張市賃貸住宅条例の一部改

正について

◎夕張市営住宅条例の一部改正

について

◎夕張市賃貸住宅条例の一部改

正について

正について

◎夕張市公設地方卸売市場条例の一部改正について

諮問

◎人権擁護委員候補者の推薦に

報告

◎財政的援助団体の監査結果に

ついて

◎例月現金出納検査の結果につ

いて

意見書

第1号 地域医療と国立病院の

充実を求める意見書

・国立病院では手厚い看護が必要

な患者さんが多数入院してい

るが、夜間はわずか2人の

看護師で約50人の患者さんの

看護にあたる病棟も少なく

い。医療崩壊を食い止め、安

全・安心の医療・看護の実現

のために、医師・看護師はじ

め医療従事者の増員が必要。

いつでも・どこでも・誰でも

安心して医療を受けることが

できる体制づくりは住民の願

いである。よって次の項目を

強く要望する。

一、国立病院を縮小・廃止、民

営化することなく、充実強化

を図ること。

二、国立病院を運営費交付金の

一律削減の対象から除外し、

必要な予算を確保すること。
三、国立病院を総人件費一律削減の対象から除外し、医師・看護師はじめ必要な人員を確保すること。

第2号 政府のEPA基本方針

に関する意見書

・我が国の食料安全保障と両立

できないTPP交渉への参加

に反対し、断じて認めること

はできないと考え、EPA基

本方針を執行するに当たって

はこれまで同様、我が国の食

料安定供給への重要な役割を

担う使命感に立ち、北海道農

業が持つ潜在能力をフルに発

揮し、持続可能な北海道農業

の確立を図るため次のとおり

確固たる姿勢で臨むよう強く

要望する。

一、国際貿易交渉に当たっては

「多様な農業の共存」を基本

理念として、農業・農村の多

面的機能の発揮や食料安全保

障の確保を図るなど、日本提

案の実現を目指すというこれ

までの基本方針を堅持し、関

税撤廃を原則とするTPP交

渉の不参加を含め、食の安全

の確保、食料自給率の向上、

農業の多面的機能の発揮、国

内農業・農村の振興を損なわ

ないように対応すること。

二、包括的経済連携協定にお

いては、食料・農業・農村政策

を重要な国家戦略として位置

付けている食料・農業・農村

基本計画の趣旨を踏まえ、米

や小麦、でん粉、砂糖、牛肉、

乳製品等の重要品目を関税撤

12月定例会

一般質問

(質問順)

高間澄子議員質問

○女性の生命と健康 を守る子宮頸がん予 防措置の実施につい

て

■質問

(1)子宮頸がん予防ワクチン

接種の公費助成について

(2)子宮頸がん予防検診公費

助成の継続について

■答弁

ワクチン接種はがん対策や少

子化対策上、重要な取り組みで

あり、接種を希望する市民が、

他市町村と同じ接種を受けられ

ることが必要であると考え、23

年度からの実施に向けて検討を

進めて参ります。

次に予防検診の公費助成につ

いてであります。安全で効果

的なワクチンの接種とともに定

期的な検診により、完治の可能

性も高く治療にかかる負担も軽

くなります。がんを早期に見

する意味でも、日頃の健康管理

のひとつとして定期的に検診を

受けることが大切なことから、

引き続き公費助成を実施すると

ともに、健診手帳の配付により

夕張市議会では議会の動きを

多くの市民にお知らせするために、

「議会だより」の他に「市議会報」を発行しています。

市議会報は各新聞販売店さんのご協力により

折込みしていただいています。

また市役所や支所、ふれあいサロンにも

配布してますので、お読みください。

ご意見・ご感想を

お寄せください

夕張市議会事務局

本町4丁目

電話 52-3172

委員長 正木邦明
委員 佐里雅之
委員長 角田浩晃
委員 高間澄子
委員長 島田達彦
委員 島田達彦

検診の周知を図り、更なる受診率の向上につなげていきたいと考えております。

伝里雅之議員質問

○本市における産業廃棄物の処分について

■質問
(1)産業廃棄物処分場のない本市だが、夕張の特産であるタ張メロンの生産農家から毎年大量の廃ビニールが出ている。

また、老朽化した市営住宅等の解体でも出てくると予想されるが、その廃棄物の処理を市としてどのように考えているか。

※質問の趣旨

昨年7月15日の行政常任委員会では市長は、産廃業者の計画取り下げに関して「今夕張から出る産廃の処理についてのスタートに立ったつもりで市としても道とも協議しながら安全安心の方向を見出していきたい。各近隣と相談も、道に対して積極的に取り組んでいく。」と答弁していることから、市としてこれまどのように取り組んできたのかを質問しました。

■答弁

農業用廃プラスチックは、市内の処分業者により収集され、塩化ビニール系とポリエチレン系などに選別されております。塩化ビニール系は発生量の約8割を占め、主にリサイクル資材

として利用されておりますが、残り2割のポリエチレン系は、毎年「100トン」程度発生しており、埋め立て処分とされておりましたが、現在は、材質ごとに仕分けするなど、更なる分別の細分化に取り組み、減量化を図っている状況にあります。

また、本年10月19日には、北海道農業用廃プラスチック適正処理推進協議会が、空知総合振興局の主催で開催され、その中で、本市としては将来に向けた分別の徹底と減量化、広域での安定的処理体制の確立と北海道を始めとする関係機関との連携について要望したところであります。

次に、市営住宅等の解体により発生する廃棄物は、1棟4戸の木造住宅で廃棄物の約1割の4トン、ブロック住宅は約3割で48トン程度が、再資源化できない廃棄物となります。

現在、後年次にわたる住宅再編事業を推進しており、今後、市営住宅解体により発生する廃棄物については、法に基づき適正な処理を行うとともに、再資源化と減量化を図って参りたいと考えております。

道内の最終埋め立て処分地の受け入れ環境は、厳しい状況になりつつあります。

市といたしましては今後も、北海道をはじめ、近隣自治体、関係機関とも充分連携を図りながら、課題解決に向けて取り組んで参りたいと考えているところであります。

正木邦明議員質問

○人事行政について

(1)職員採用試験の試験委員の構成に市職労代表が入っているのはどうしてなのか。

■答弁

職員採用については資格を要する専門技術分野を除いては、一般教養等に関する筆記試験を実施し、その採点において成績上位者の選考を行い、その中から面接試験を実施し採用候補者を決定していくという手順を行っています。

一次にて筆記試験をパスしていることをふまえて、二次試験と位置付ける面接試験では、公務員としての適応能力が有るか否や、あるいは人柄や性格などを把握するとともに、集団の中における協調性の有無を適正に評価することを目的としています。

職場環境の向上や職員の福利厚生分野の視点をもつて選考を行うことが必要であることから管理職のほか職員の代表として市職労代表を委員の一員として

いるところであります。

面接試験では限られた時間の中で受験者一人一人について多角的な視点から評価を行わなければならない。そうした委員会の機能を高めるために職員組合の代表として面接試験に携わっていることをご理解頂きたい。適正公平な任用制度を行うのが任命権者である市長の責任であ

りますから、貴重な意見として拝聴しますが、任命権者である私としましては今現在の方法で行っています。

角田浩晃議員質問

○地域資源を活用した地域振興策について

(1)夕張商工会議所主催の地域振興会議において、夕張での炭層メタンガスの採掘の可能性について、研究が進められているとの報告があり、すでにアメリカ、オーストラリア、中国において地域エネルギー源として活用され、ひとつの地域全体を、この炭層メタンガスにより賄われている実例もあることから、石炭の新たな活用方法として、また地域振興策の点からも積極的に取り組むべき課題と考えております。市としてどのような取り組みを考えているのか。

(2)クリーンなエネルギーであることから、様々な活用が考えられるが、どのように取り組んでいくのか。

(3)具体的なガス採掘計画が出された場合、本市の石炭採掘権保有の考えとの整合性はどうか。

■答弁

炭層メタンガスの採掘についての研究は、北海道が中心となつて進められております。その研究では、夕張はガスの埋蔵量において、またその抽出のしやす

さの点においても有望な地域という報告を受けております。今後、勉強会などによりこの事業について深く知識を共有することが大切であると考えております。

炭層メタンガスは二酸化炭素の排出量において、石炭の4割、石油の2割少ない極めてクリーンなエネルギーであり、国の進める二酸化炭素排出の減量の取り組みとも合致していることから、その実用に向けた取り組みは重要であり、企業誘致や夕張市内で稼働している工場のエネルギー源としての活用等、地域振興に結びつけて地産地消型の活用を考えて検討してまいります。

本市は現在、旧北炭、三菱マテリアル等の会社の石炭採掘権を48保有しております。今後ガスの採掘に対する研究が進められ、ガス採掘業者が出てきた場合、石炭採掘権を保有する市として事業者と直接的な対応をしてまいりますし、炭層メタンガス採掘に向けて市として積極的に北海道あるいは国に対して声を上げていきたい。

「議会だより」は
「議会報」は
夕張市の
ホームページに
掲載しています
ご覧ください